

佐賀留学の感想

Vuong Thi Hai Yen(ベトナム)

一年間留学して、自然な日本語を身につけるだけでなく、日本人のことも少しわかるようになったと思います。

やはり一つの言語を学ばばその言語を使う現地に行ったほうがいいです。日本に留学する前に3年間も日本語を勉強していましたが、日本に来てはじめての3ヶ月ほど会話ができませんでした。日常会話に使われている話し言葉や言い回しは大学であまり教わらなかったからです。それらの言葉を始めて耳にして、意味を判断して返事してみて、間違えば直していただき、それを身につけます。そのことを会話を通して繰り返して、いろいろな単語や表現を正しく自然に使えるようになりました。間違ったところを直してくださったのは日本人の先生や日本人の学生ですから、それは正しいと安心して真似できました。

また、日本に来て毎日日本語で会話しなければならないので、反応もかなり早くなりました。返事の日本語は正しくないともわかって、より適切な表現を見つける暇はなく、とりあえず返事しました。ミスはあとで考えて自分で直して、一度間違ったとわかったから二度目はありにくいです。しかし、国での授業で先生の質問などに答えるなら、正しい日本語を見つけるのに時間がかかって、反応はいつまでも早くならないと思います。

日本に来て、日本人の中で生活して、印象深いのは日本人がまさに思いやりの心の持ち主です。学校やスーパー、どこへ行っても、外国人だとわかると、ゆっくり話して、丁寧に説明していただきました。変な日本語をしゃべっても日本人に笑われたことはありません。

日本人の「思いやり」は、私の日本での一番感動した思い出につながっています。ある日教室でパスポートと銀行通帳を忘れ物して帰りました。それに気づいて教室に戻ったら、もうそこにありませんでした。大学の学生課や国際課に連絡したらまだ誰も届けてくれないという返事でした。あきらめて再発行していただくと思うその日の夜にある佐賀大学生がそれらを届けに来てくれました。学生課などに届けずに、明日を待たないでわざわざアパートまで来てくれました。理由を尋ねると、「学生課に届けたら早くとも明日から連絡が来るから、それまで心配でしょう」とあの学生が答えました。そのような学生は二度と会うのが難しいでしょう。

佐賀に留学して、日本人と中国人の友達をつくりました。日本と中国の料理もいくつかできるようになりました。日本人と中国人の学生は、専門の知識だけではなく幅広い分野で深い知識を持っているとわかりました。特に中国人の学生は日本語が上手で夢が大きくて、ベトナム人の学生の夢はとてもかなわないと思います。語学でも理学でも何学でも、一度ベトナム人の学生に日本に留学するのを勧めたいです。各国人の知識や夢を知るために、自分がどれほど頑張らなければならないかを知るために。